



広尾少年消防クラブの入団式。新たに11名を迎え、防火啓発活動などを行います。(4月25日 消防庁舎)



ひろお

# 議会だより

No. **186**

2018年6月1日発行



つくる、つなぐ。広尾町  
平成30年は  
広尾町150年

【平成30年第1回定例会】

**人口減対策、子育て支援に重点**

平成30年度予算可決

2

**一般質問** (5人が登壇)

12

／サンタランド／高齢ドライバー／高規格道路

国保  
病院 **地方独立行政法人へ移行**

町長から方針示される

20

**議会基本条例の検証・評価を実施**

21

○発行・編集／ 広尾町議会・議会広報特別委員会 E-mail g-gikai@town.hiroo.lg.jp

〒089-2692 北海道広尾郡広尾町西4条7丁目 TEL 01558-2-0180 (議会直通) FAX 01558-2-2114

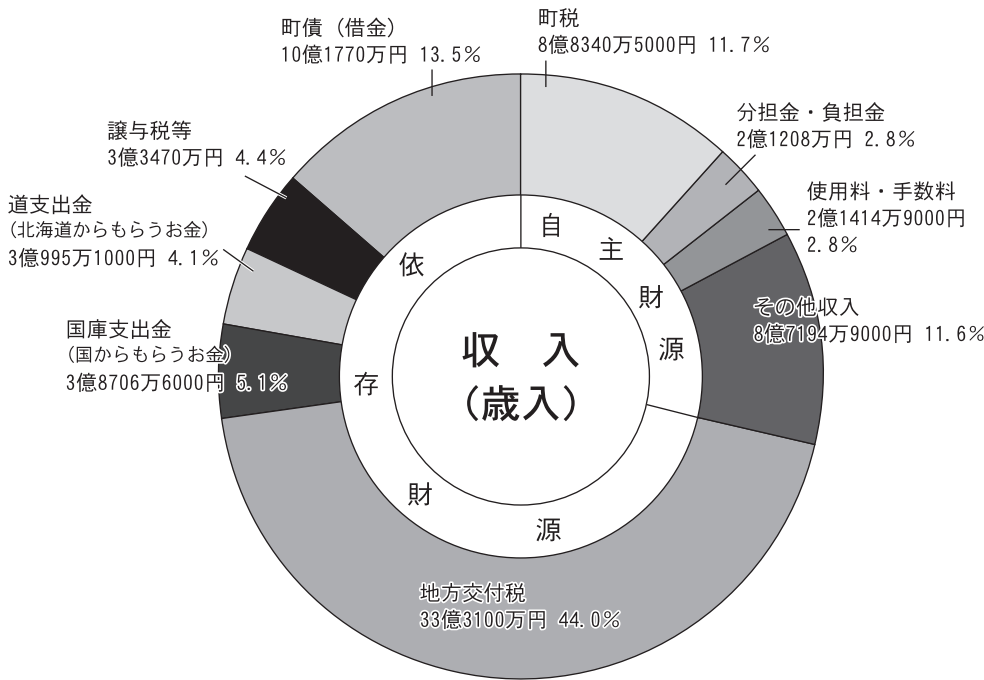
# 子育て支援に重点

## 確実な実施で健全な財政基盤づくりを

平成30年

第1回

定例会



平成30年第1回定例会は、3月6日(火)から16日(金)までの11日間の会期で開かれました。条例の一部改正や補正予算、平成30年度予算などが提案され、本会議・委員会での審議の結果、全議案を原案のとおり可決しました。

一般会計収入(歳入)合計 75億6200万円

### ◆平成30年度各会計の予算額

会計名	本年度予算額	前年度予算額	比較
一般会計	75億6200万円	73億2400万円	2億3800万円
港湾管理特別会計	1億900万円	1億690万円	210万円
簡易水道事業特別会計	6920万円	6720万円	200万円
下水道事業特別会計	4億250万円	4億9790万円	△9540万円
国民健康保険事業勘定特別会計	10億円	12億5500万円	△2億5500万円
介護保険特別会計	6億7210万円	7億1400万円	△4190万円
介護サービス事業特別会計	2億6570万円	2億6000万円	570万円
後期高齢者医療特別会計	1億1590万円	1億720万円	870万円
国民健康保険病院事業会計	9億6038万6000円	9億9616万2000円	△3577万6000円
水道事業会計	2億1954万円	2億5686万2000円	△3732万2000円
合計	113億7632万6000円	115億8522万4000円	△2億889万8000円

豊似小改築工事に伴い、起債(借金)発行額が大幅増

# 主なしごと



## バス待合所の建設

3527万円

老朽化した鉄道記念館を解体し、新たにバス待合所を建設します。



## 150年記念事業

398万円

記念式典や音楽コンサートなど、広尾町150年記念事業を実施します。

## ひろお保育園の増築

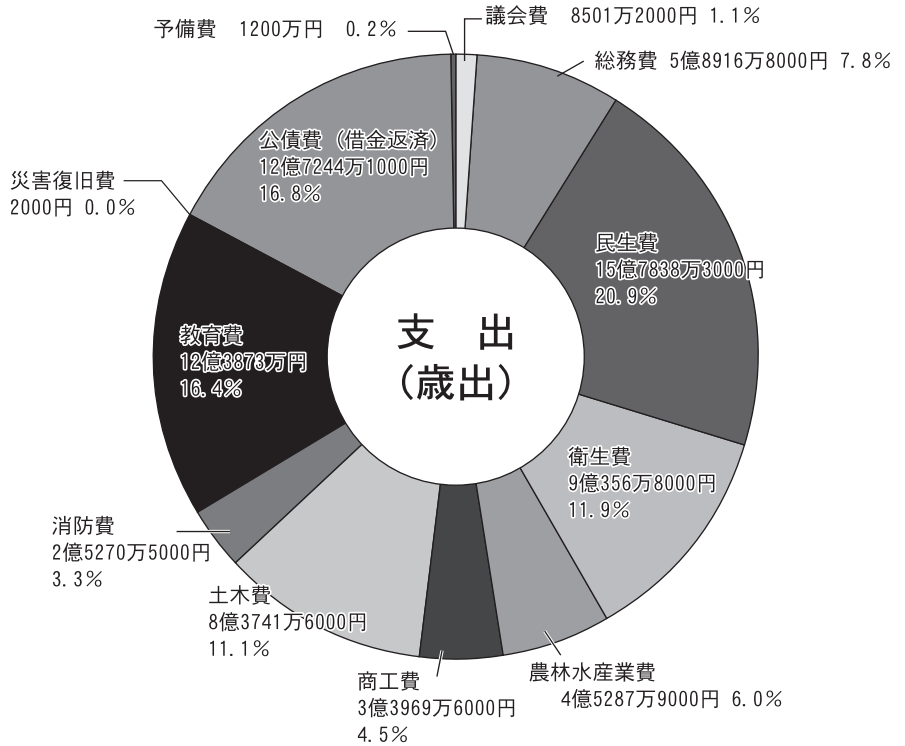
5247万円

建設当初の推計と現状の子どもの数が変化したため、入所を希望する全員を受け入れることが難しいと判断し、保育室2部屋を増築します。

# 平成30年度予算

# 人口減対策、

# 行革の



## 一般会計支出(歳出)合計 75億6200万円

平成30年度予算審査のため、予算審査特別委員会(志村國昭委員長)を設置。一般会計、7特別会計、2企業会計の計10会計について、3月13、14日の2日間審査を行い、16日の本会議で討論・採決の結果、全会計総額113億円の平成30年度予算が可決されました。

【予算の概要】  
一般会計予算額は75億6200万円、前年度と比べて2億3800万円の増となりました。収入の約半分を占める地方交付税は33億3100万円を見込み、前年度と比べて1億4900万円の減となりました。町税収入は前年度比0.5%減の8億8340万円を見込んでいます。町の借金にあたる町債の発行額は10億1770万円、前年度と比較して54.8%増。豊似小学校改築事業(借入額4億8260万円)の実施により大幅な増加となっています。

平成30年度末の借金残高見込みは一般会計12億8338万円(全会計で157億793万円)となっています。

次のページは「新年度予算の質疑」



# 予算の使い道は

## 予算審査 特別委員会

3/13,14

委員長 志村國昭  
副委員長 小田英勝

新年度予算についての  
質疑内容を抜粋、  
要約してお知らせし  
ます。

### 臨時職員の配置

**問** 臨時職員を一部配置  
しないことで職員  
の業務量が増えるが、健康  
面に心配はないか。

**答** 行政改革の一環で、  
担当課と話し合い配  
置しないこととなったが、  
職員の健康保持について  
は十分配慮する。

### バス待合所

**問** 計画では耐震改修工  
事としていたが、な  
ぜ新築工事なのか。また、  
町民の意見を聞いたのか。  
**答** 補助制度が耐震改修  
工事にはないが、取  
り壊して建て替える場合  
にはある。まちづくり計  
画委員会から意見をいた  
だき、協議をした結果、

新たにバス待合所を整備  
することとした。

**問** 鉄道記念館の展示物  
はどつするの。  
**答** 展示物は、海洋博物  
館へ移設する。

### 150年記念事業

**問** 記念する年に、町の  
歴史をつづつた記念  
誌発行の考えは。  
**答** 平成31年度発刊を目  
指して、年表史の作  
成を進めている。

### 漁村ホームステイ

**問** 事業を始めて4年目  
となるが、委託料な  
どの費用を見直すべきで  
はないか。  
**答** 平成30年度から事前  
事後の打ち合わせな  
どは職員が行い、専門性  
を有する業務のみ委託す  
る内容に見直した。

**問** 広尾町の子ども達の  
ためにふるさと納税  
寄附金は使つべきではな  
いか。  
**答** 本事業を実施するた  
めの指定寄附であり、

ほかに使用することはで  
きない。

**問** 子どもの貧困調査  
に関するアンケート調査の  
委託先は。  
**答** 子ども・子育て支援  
計画策定に向けたア  
ンケート調査と貧困調査  
をあわせて実施するため  
その二つの業務ができる  
外部業者に委託する。

### 子ども貧困調査

**問** 今回の提案内容と昨  
年12月の説明が違う。  
計画が不十分ではないか。  
**答** できる限り費用をか  
けないよう協議した  
結果、今回の提案内容に  
なった。

### ひろお保育園増築

**問** 障がい者就労体験  
体験する仕事量を増  
やす考えは。  
**答** 平成30年度は新たな  
仕事も予定しており、  
例年より多く事業数を見  
込んでいます。

### 障がい者就労体験

**問** 平成31年度から導入  
予定だが、今後のス  
ケジュールは。  
**答** 4月に専門知識を有  
する地域おこし協力  
隊を地域コーディネーター  
として配置し、全町民を  
対象にアンケート調査を  
実施する。その後、6月  
と10月に地域住民と教職  
員を対象に話し合いの場  
を設け、広尾の子ども達  
にどう育ってほしいか、  
そのためには何をすべき

### 2名の地域おこし協力隊が活動中



(写真左から)  
寺田弘文さん (コミュニティ・スクール担当)  
吉田佳織さん (ホームステイ、移住・定住促進担当)

### コミュニティ・ スクール

**問** 平成13年度から春と  
秋の2回、関係団体  
と町内巡回パトロールを  
実施している。今後は、  
定期的なパトロールの実  
施やごみの撤去により「ご  
みがごみを呼ばない対策」  
などを行っていく。

### 不法投棄

**問** ごみの不法投棄への  
対策は。  
**答** 平成13年度から春と  
秋の2回、関係団体  
と町内巡回パトロールを  
実施している。今後は、  
定期的なパトロールの実  
施やごみの撤去により「ご  
みがごみを呼ばない対策」  
などを行っていく。

# 新年度

## ●広尾高校への9つの支援

- 資格検定料の補助
- 模擬試験料の補助
- WE B 講座受講料の補助
- 部活動の補助
- 大手予備校講習費等の補助
- 下宿費等の補助
- 通学費の補助
- 国際交流費の補助
- 給食の提供

### カラス駆除

**問** カラスの駆除対策は、

**答** 被害が多い場所になを設置するなどしているが、有効な手段が確立されていないのが現状である。引き続き調査研究を進めていく。

### 中高一貫教育

**問** 今後、中高一貫教育をどのように取り組んでいくのか。

**答** 「広尾の子どもは広尾で育てる」をテーマに、中学生と高校生の交流や広尾高校への9つの支援など、毎年事業内容を検討して取り組んでいる。今後は教職員へのアンケートを実施するなど、学校とさらに連携しながら進めていきたい。

### 起業家支援

**問** なぜ、補助金を半分に減額するのか。

**答** 3年間の実績により制度の見直しを行う

た結果、補助金の半減を含め、平成30年4月から大幅な改正を考えているため。

### 水面貯木場



水面貯木場

**問** 台風などで被災し、かさ上げ工事などの整備を行っていたが、昨年8月に工事は完了している。いまだに使用されていない理由はなにか。

**答** 災害等が予想される場合、陸上へ早急に木材を引き揚げる必要があり、その際の方法や対策など、輸入業者と協議が整わないため。

### 十勝港まつり

**問** 数年前に比べ、事業費が増えてきているが、町の負担を軽減する対策は。

**答** 来場者に安心して快適な祭りを楽しんでもらうための経費が増えている。今後、収入の確保を検討する。

### 国民健康保険

**問** 北海道は6年で町からの赤字繰り入れを段階的に解消するよう通知しているが、本町は5年で解消しようとしている。1年早める理由は。

**答** 厳しい財政状況から、早期に解消する必要があるため。

### 後期高齢者医療制度

**問** 保険料率改定による引き上げ額は。

**答** 年額で均等割が396円、所得割が0.08%の増となる。

## 討論

※一般会計はP7に掲載

### 国民健康保険事業勘定特別会計

**反対**

旗手恵子委員

**賛成**

山谷昭夫委員

北海道が運営の責任主体となる新制度においても、被保険者の多くが低所得者であるにもかかわらず、保険料が高い構造は変わっていない。5年後の赤字解消を前提とした予算ではなく、町民の目線に立った予算にすべきであり、本案に反対する。

新制度になっても、引き続き保険給付、保健事業などのきめ細かい事業は町が実施する。提案された予算は事業運営に必要不可欠であり、保険料率についても低所得者等に配慮された改正となっていることから、本案に賛成する。

### 後期高齢者医療特別会計

**反対**

旗手恵子委員

**賛成**

山谷昭夫委員

北海道後期高齢者医療は、所得が低いのに保険料が極めて高い実態にある。本町の高齢者は、個人町民税の課税状況から73・6%が年金収入200万円未満であり、保険料を過重に引き上げる本案に反対する。

高齢者が医療を受けるうえで必要な制度である。保険料についても低所得者への軽減策が講じられており、制度を運営している広域連合に加入している本町として提案された予算は必要不可欠であることから、本案に賛成する。

# 国保制度

# 市町村と北海道が協力して運営

4月から新たな運営がスタート

平成30年  
第1回  
定例会  
3/6～16



窓口は今までと変わりません

これまで各市町村が保  
険者として国保を運営し  
てきましたが、財政を安  
定させ事業を効率よく進  
めていくために、平成30  
年4月から市町村と北海  
道がともに保険者となり  
運営することになりました  
。北海道が財政運営の  
中心的な役割を担い、市  
町村は今までどおり窓口  
を中心に業務を行います  
。また、保険料は医療費  
を全道で分け合うため、  
道が標準的な保険税率を  
示し、市町村がその率を  
参考に決定します。

**問** 平成30年度予算での  
一般会計からの赤字  
繰入金はいくらか。赤字  
分を繰り入れしたら、保  
険料の引き上げは必要な  
いのでは。

**答** 約436万円の赤字  
繰り入れである。  
5年間で赤字を解消し、  
行政改革を着実に実行す  
るため、北海道が示す標  
準保険税率を参考に引き  
上げたい。

## 国保税率の改正

## ●市町村と北海道の新たな役割

市町村の役割	北海道の役割
○保険料の決定・徴収	○市町村が道に納める納付金の決定
○資格管理（保険証の発行など）	○市町村ごとの標準保険税率の算定・公表
○医療給付の決定・支給	○事務の効率化、標準化、広域化の推進
○きめ細かい保健事業	

## 十勝管内各市町村の 介護保険料基準月額

(単位：円)

市町村名	基準月額	増減額
帯広市	5790	320
音更町	5100	250
士幌町	6100	1000
上士幌町	5000	134
鹿追町	5800	1200
新得町	5600	500
清水町	5600	500
芽室町	6040	430
中札内村	4000	900
更別村	5500	1000
大樹町	5800	0
<b>広尾町</b>	<b>4400</b>	<b>0</b>
幕別町	5400	250
池田町	5500	697
豊頃町	4845	-91
本別町	5980	210
足寄町	5750	0
陸別町	5700	800
浦幌町	5400	-150

平成30年度からスタ  
トする第7期介護保険事  
業計画に基づき、平成30  
年から3年間の介護保険  
料が決定しました。新保  
険料は**基準月額4400  
円**と第6期計画から据え  
置かれました。  
また、保険料の段階も  
9段階と変わりません。

**問** 第6期計画で  
基金が約21  
00万円増えてい  
るが、その理由は  
介護度の重い  
方が減ったこ  
とや予定してい  
た新規事業所が開  
設されなかったこ  
などで給付費が減  
少したため。

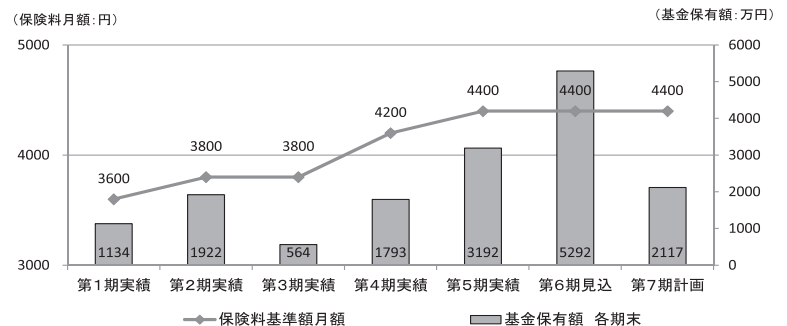
## 介護 保険料

基準月額  
**4400円据え置き**

**問** 均等割は子どもの人  
数によって影響され  
るが、子育て支援として  
減免する自治体が増えて

**答** いる。本町も検討  
すべきでは。  
今後、十分に  
検討していく。

## 介護保険料及び基金保有額の実績と計画





# 新たな国民健康保険制度

# 平成30年度予算を可決

## 討論 (国保条例)

**反対**

町民目線の施策を

旗手恵子議員

**賛成**

改正はやむを得ず

山谷昭夫議員

## 討論 (一般会計)

**反対**

生活弱者に支援を

前崎 茂議員

**賛成**

行革取組健全化を

小田 英勝議員

新制度移行後も、低所得者の保険税が高いという構造問題は何も変わっていない。子どもの均等割の減免など、工夫を取り入れるよう早急に検討すべきである。新制度になっても、賦課・徴収の権限を有しており、町民の目線に立った施策・対応が求められることから、本案に反対する。

低所得者に負担がかからない改正となっている。単身で年金収入のみの軽減世帯については、負担額が現行に比べて減ることになる。厳しい財政状況にありながら、被保険者の負担を抑えるため過去から赤字繰り入れを行ってきたおり、保険税の見直しはやむを得ないと考え、本案に賛成する。

**反対**

ホームステイ反対

小田 雅二議員

社会的弱者である高齢者や障がい者、低所得者の支援に力を注ぐことが必要であるが、敬老祝金の削減や公共料金の引き上げなどにより、厳しい生活を余儀なくされることとが考えられるため、本案に反対する。

今後、厳しくなる財政運営の見直しから行政改革に取り組み、健全な財政基盤の確立に努めていただくことを申し上げ、本案に賛成する。



交流相手を荒川区の特定の小学校に限定し、費用の全額を町が負担する「子ども農山漁村交流から始めるまち・ひとつくり事業」が含まれている。本案に反対する。

### 《一般会計予算採決結果》

賛成 9 反対 3  
**可決**

### その他決まったこと (◆は行政改革の実行に伴うもの)

- ◎介護保険法改正により、これまで都道府県が行っていた指定居宅介護支援事業者の指定などを市町村で実施することになったため、新たに条例を制定し、指定地域密着型サービス事業者等の指定基準の条例も必要事項を改正しました。また、地域密着型サービスとして小規模な通所介護（デイサービス）が追加されました。
- ◎法改正に伴い、企業立地促進等の固定資産税課税免除・産業集積の形成及び活性化に関する法律の準則を定める条例の必要事項を改正しました。
- ◎国保の新制度移行に伴い、国保条例、国保基金条例を改正しました。  
※葬祭費は北海道で統一するため、2万円から3万円に引き上げられます。
- ◎広尾町観光案内所の住所を鉄道記念館から大丸山森林公園サンタの家に変更しました。

- ◎法改正に伴い、後期高齢者医療制度において「<sup>\*</sup>住所地特例」が適用されることになりました。
- ◎除排雪費用に2000万円を追加する平成29年度一般会計補正予算を決定しました。
- ◎3月8日から9日にかけて発生した大雨による災害復旧費用として229万円を追加する平成29年度一般会計補正予算及び78万円を追加する平成29年度簡易水道事業特別会計補正予算を決定しました。
- ◆役場の課を統合しました。
  - ・税務課+住民課→「住民課」
  - ・建設課+水道課→「建設水道課」
- ◆法人町民税の「均等割の税率」を引き上げました。

# 唯一の被爆国として 核兵器なき世界の実現へ

意見書3件を可決し、国等へ提出

※内容は要約しています。



広尾町では毎年8月に原爆パネル展を開催

**①**  
**核兵器廃絶の実現に真剣に努力し、日本政府が速やかに核兵器禁止条約に調印することを求める意見書**

**提出者** 前崎 茂議員

平成29年7月、国連会議において法的拘束力を持つ「核兵器禁止条約」が122か国の賛成によって採択された。

この条約は核兵器が非人道的な兵器であり、国連憲章や国際人権法などに反するものとして明文上も違法なものとし、核兵器完全廃絶への枠組みを示している。

世界にはいまだ1万5000発の核兵器が存在し、核戦力の開発や近代化によって危険性が高まりつつある。

核兵器廃絶は、唯一の被爆国としても支持し、推進すべきことから、日本政府が一刻も早く条約に調印することを求める。

**②**  
**地方公務員法及び地方自治法の一部改正における一般職非常勤職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書**

**提出者** 志村國昭議員

自治体で働く臨時・非常勤職員は、事務職のほか保育士、介護職員など多岐にわたっており、その多くが恒常的業務を行い、地方行政の重要な担い手となっている。

平成29年に地方公務員法及び地方自治法が改正され、新たな一般職非常勤職員である「会計年度任用職員」は、非常勤職員を法的に位置づけ、職務給の原則に基づき、常勤職員との均等待遇を求めている。

平成32年の法施行に向けて任用実態調査や条例等の制定、新たな予算確保を行う必要があるが、準備不足が懸念される。

各自治体に制度変更を改めて周知徹底するとともに、必要な財源は地方財政計画に反映させ確実に確保することなどを強く要望する。

**③**  
**生活保護費の減額に関する意見書**

**提出者** 旗手恵子議員

厚生労働省は平成30年度からの生活扶助費を最大14%引き下げようとしたが、異論や反発の声が上がり最大5%に縮小した。しかし、前回に引き続く削減で対象世帯への影響は避けられない。

一般世帯の低所得者の

消費支出を上回っているというが、引き下げられれば一般世帯にも跳ね返ってくる。また、今回の見直しでは子どもが多い世帯ほど削減幅が大きくなるが、平成26年に施行された子どもの貧困対策法の趣旨と矛盾している。

困窮世帯の現実を直視し、生活保護基準の向上を図られるよう要望する。



## 核廃棄物最終処分場 絶対に受け入れない

**決議**  
**高レベル放射性廃棄物の最終処分場の受け入れを拒否する決議**

**提出者** 北藤利通議員

平成29年7月、政府は原子力発電から出る放射能の極めて強い廃液である高レベル放射性廃棄物の最終処分場に適した地域を不特定多数の特性マップを公表した。

火山や活断層が周囲に近く海岸から近い、処分

場の候補地となり得る「最適地」は、北海道では陸地の3割が該当し、86市町村に及んでいる。

政府は、最適地を重点に住民説明会を開始し、今後処分場選定に向けた第1段階の文献調査を申し入れるとしている。

最終処分は地下300mより深い地層に埋めるとしているが、地震多発国の日本で「10万回の監視が必要な核廃棄物を安

全に保管できるのか」といった疑問が解消されずに進んでいる。

よって、広尾町は北海道の「核抜き条例」に基づき、高レベル放射性廃棄物の最終処分場は受け入れないことを決議する。

**決議**とは、議会の意思を対外的に表明するものです。

※核抜き条例（北海道における特定放射性廃棄物に関する条例）  
豊かで優れた自然環境に恵まれた北海道を将来に引き継ぐため、放射性廃棄物の持ち込みは慎重に対処すべきであり、受け入れがたいことを宣言する条例



## 主な新規事業

### ひろお保育園増築

認定こども園開設に向けて  
保育室を2室増築

### 子ども・子育て支援事業計画策定

次期計画策定に向けて「ニーズ調査」、  
「子どもの貧困アンケート」の実施

### バス待合所整備

待合所の建設・鉄道記念館の  
解体撤去

## 総事業費

見直し前 89億2370万3000円

見直し後 **90億2536万7000円**

1億166万4000円  
**増**

住み慣れた地域で誰もが自分らしく暮らし続けられるまちを目指して、平成30年度から平成32年度までの計画を策定した（関連記事を6ページと18ページに掲載）

### 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定

平成23年3月に策定し、公営住宅の計画的な建て替え、維持管理などを行ってきたが、人口減少などの社会情勢や事業実施状況を踏まえ、平成30年度からの計画を見直した。

### 公営住宅等長寿命化計画の見直し

1月30日に町内で除雪車が排雪作業中に後退したところ、停車中の車両に接触する事故が発生した。この事故によるケガ人はいなかった。

### 公用車の交通事故

### 障害者計画の策定

障がいのある無にかかわらず、相互の人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現のため、平成30年度から平成32年度までの計画を策定した。（関連記事を18ページに掲載）

### 大雪の被害状況

3月1日の大雪により豊似・野塚地区580戸で明け方約3時間の停電が発生した。

人的被害はなかったが、農業関連施設3棟が全壊し、牛1頭が死亡した。

### 大雨の被害状況

3月8日から9日にかけて発生した大雨による被害は現在調査中であるが、十勝港内では流木、豊似水源地の取水口では土砂が堆積している状況が確認されている。

### 天馬街道の通行止め

3月8日夜からの悪天候で天馬街道が通行止めとなり、その後大規模な雪崩と土砂流出が発生したため、通行止め解除の見通しは立っていない。※3月20日解除された。

### ひろお保育園児の負傷

2月13日、保育中に1人の園児が骨折し、入院加療することとなった。現在は通院しながら保育園に通っている。



早急な流木除去が行われた

A

町などの公益に関して議会の意思を意見としてまとめたものです。

国の政策に反映させるため、国会や政府などに提出し、要請することができます。

広尾町では、平成27年8件、平成28年13件、平成29年13件を提出しています。

## 議会のこと

教えて！さーたちん



議会のしくみも勉強中

意見書ってなに？

次のページは「議員の出席・議案の賛否・補正予算」

## まちづくり計画

## 新たな事業を追加

総事業費約1億円増加



村瀬町長からの

## 行政報告

※内容は要約しています。

第5次まちづくり計画「実施計画」（平成23年度～平成32年度）は、財政状況や社会経済情勢等の変化に対応するため、3年ごとに見直しをするが、今回は平成30年度からの新たな事業の実施に向け、追加や修正など見直しを行った。

# 議員の会議等出欠状況をお知らせします

(平成29年12月定例会終了後～平成30年3月定例会まで)

## (1) 定例会・臨時会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退

開催日	開催会議名・主な内容	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	浜野隆	萬亀山ちず子	北藤利通	前崎茂	志村國昭	山谷照夫	星加廣保	渡辺富久馬	小田英勝	小田雅二	旗手恵子	浜頭勝	堀田成郎
1/23	第1回臨時会(条例改正、補正予算など)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/6	第1回定例会(条例改正など)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/7	第1回定例会(補正予算など)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/9	第1回定例会(一般質問など)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	遅	○
3/13	第1回定例会(行政報告)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/16	第1回定例会(新年度予算など)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
開催日数計	6日	出席日数計	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

## (2) 委員会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 -：所属外

開催日	開催会議名・主な内容	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	浜野隆	萬亀山	北藤	前崎	志村	山谷	星加	渡辺	小田	小田	旗手	浜頭	堀田
1/11	第1回総務常任委員会		-	○	-	-	-	○	-	-	○	○	○	○	○
1/23	第1回議会運営委員会		○	-	-	○	○	-	○	○	-	○	-	○	○
1/23	国保病院のあり方に関する調査特別委員会(正副委員長互選)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
1/23	議員定数等に関する調査特別委員会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
1/30	第1回産業常任委員会		○	-	○	○	○	-	○	○	-	-	-	-	○
2/7	議会広報編集会議		-	○	×	-	-	○	-	-	○	-	○	○	-
2/15	第1回議会広報特別委員会		-	○	○	-	-	○	-	-	○	-	○	○	○
3/1	第2回議会運営委員会		○	-	-	○	○	-	○	○	-	○	-	○	○
3/6	第3回議会運営委員会		○	-	-	○	○	-	○	○	-	○	-	○	○
3/6	国保病院のあり方に関する調査特別委員会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
3/6	予算審査特別委員会(正副委員長互選)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
3/7	予算審査特別委員会(補正)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
3/9	第2回議会広報特別委員会(正副委員長互選)		○	-	-	○	○	-	○	○	-	○	-	-	-
3/13	第4回議会運営委員会		○	-	-	○	○	-	○	○	-	○	-	○	○
3/13	予算審査特別委員会(新年度)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
3/14	予算審査特別委員会(新年度)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
3/16	議会広報編集会議		○	-	-	○	○	-	○	○	-	○	-	-	-

※堀田議員は議長のため、各委員会に所属していませんが、オブザーバーとして出席しています。  
 ※副議長の浜頭議員は、議会運営委員会にオブザーバーとして出席しています。  
 ※予算審査特別委員会は、議長を除く議員で構成されています。  
 ※3月9日から議会広報特別委員会委員が入れ替えにより変更となっています。

## (3) 議員協議会・研修・その他

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 -：対象外

開催日	開催会議名・主な内容	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	浜野隆	萬亀山	北藤	前崎	志村	山谷	星加	渡辺	小田	小田	旗手	浜頭	堀田
1/23	議員研修会(議員報酬)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1/23	第1回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1/26	議会モニター会議(1班)		○	-	-	-	○	○	×	-	-	○	○	○	○
2/8	高校生議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2/8	議員研修会(新国保制度)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/9	第2回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 平成30年 第1回定例会 議案審議結果

●賛否のあった議案（議案名は一部省略しています）

賛成：○ 反対：× 欠：欠席

議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	議決結果
	浜野隆	萬亀山ちず子	北藤利通	前崎茂	志村國昭	山谷照夫	星加廣保	渡辺富久馬	小田英勝	小田雅二	旗手恵子	浜頭勝	堀田成郎	
国保税条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	○	—	可決(8-4)
平成30年度一般会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	—	可決(9-3)
平成30年度国保事業勘定特別会計予算	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	○	—	可決(8-4)
平成30年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	○	—	可決(8-4)

※全会一致した議案の掲載は省略しています。

※堀田議員は議長のため、採決には加わりません。

## ふるさと納税 今年も目標下回る結果に 主力の「毛がに」申し込み伸びず

### 予算審査特別委員会

委員長 志村 國昭 3/6,7  
副委員長 小田 英勝

一般会計ほか8会計の平成29年度補正予算案9件を、3月6日に設置された予算審査特別委員会に付託。同委員会では審査を行い、全補正予算を原案のとおり可決すべきと決定しました。

### 平成29年度 補正予算の内訳

一般会計 ⑧、⑨、⑩、⑪、⑫、⑬	73億2370万円	2億6014万円	減
港湾管理特別会計 ④、⑤	1億2270万円	100万円	増
簡易水道事業特別会計 ⑤、⑥	6920万円	123万円	増
下水道事業特別会計 ⑤、⑥	4億6559万円	4014万円	減
国保事業勘定特別会計 ④、⑤	11億4850万円	1億2534万円	減
介護保険特別会計 ④、⑤	6億8111万円	5541万円	減
介護サービス事業特別会計 ④、⑤	2億5209万円	68万円	減
後期高齢者医療特別会計 ②	1億835万円	115万円	増
国保病院事業会計 ③、④	8億4604万円	2177万円	減
水道事業会計 ④、⑤			
収益的収入	1億4604万円	107万円	減
収益的支出	1億5637万円	752万円	減
資本的支出	8231万円	1372万円	減

※会計名の後の丸数字は補正回数（1万円未満切り捨て）

ふるさと納税寄附金 △6700万円  
ふるさと納税推進費 △3905万円

確定見込みにより、寄附金収入や謝礼品などに係る予算を減額しました。

◎平成29年度は3476件、5336万円のふるさと納税が寄せられました。

**問** 寄附金が大幅な減額となつているが、昨年度も1億円を超える減額をしている。見通しが甘いのでは。

**答** 今年度は広告に力を入れることで寄附金の増額を目指していたが、返礼品の主力である毛がにの不漁が予測され、インターネット上の仲介サービス「ふるさとチョイス」への掲載が1か月遅れたことにより、寄附金が伸びなかつた。海産物の漁模様は読みづらいが、しっかりと体制を整え、今後は進めていく。



毛がに  
申し込み件数

H27 約3300件  
↓  
H28 約1300件  
↓  
H29 約400件



# ズバリ 町政を問う 一般質問

## 一般質問とは・・・

議員が定例議会で町長などに執行機関の考え方について報告を求めたり、疑問をたずねることで。

広尾町議会では1回目が一括質問方式、2回目以降は一問一答方式となっています。

※議会だよりでは、内容を要約して掲載しています。

3月定例会では  
5人の議員が一般質問を行いました。



広尾サンタランドマスコットキャラクター「さーたちん」

## ●一般質問 項目一覧

北藤利通議員	急務！ オソウシ牧場の有効活用を	P 12
	サンタランド 新たな取り組みは	P 13
前崎 茂議員	病院経営の見直し もっと町民の声を聞くべき	P 14
	学校給食費 3人目を無償化に	P 14

旗手恵子議員	生活保護費削減 関連施策への影響は	P 14
	町民の願い 医療費無料化 高校生まで	P 15
小田雅二議員	高齢ドライバー 免許自主返納の促進を	P 16
	どう取り組む？ 増え続ける空き家対策	P 16
山谷照夫議員	漁村ホームステイ なぜ継続なのか	P 17
	1日も早い広尾までの延伸を	P 17

2年を経過した今年から再開の見通しであるが、今後オソウシ牧場の活用をどのように進めていくのか。

せっかく草地化しても利用されない状態が続くと雑木などが生えてくる。肉牛などを入牧させて管理はできないか。

昨年、町営牧場のあり方検討連絡会議を農協と設け、東豊似牧場との機能の集約化なども視野に協議を開始している。持続可能な経営状況へ改善し、生産者の利益、地域振興につながる将来的なあ



受入頭数は平成22年の661頭をピークに減少



きたふじ 北藤利通 議員

**急務！**  
**オソウシ牧場の有効活用を**

**町長**  
**町営牧場全体として**  
**あり方を考えていく**

**質問**  
平成27年、オソウシ牧場でダニからの媒介によりピロプラズマ病が10数頭の入牧牛に発病した。その後、2年間休牧をして草地の更新を行うなど、ダニの駆除・撲滅に向けて取り組んできた。

**答弁**  
**村瀬町長**

ダニを減らす環境対策や猟友会の協力でダニを持ち込むエゾシカの捕獲を行ったが、依然多数のエゾシカが確認され、防疫を徹底する観点から、農協と牧場利用者互助会に理解をいただき、平成30年度も引き続き休牧することとした。

り方を考えていきたい。民間企業から大規模な肉牛の放牧を行いたいとの話があり、ふん尿処理などの環境問題をクリアできれば検討したい。

# サンタランド 新たな取り組みは

## 町長 今年サンタメールのイラストを公募する

### 質問

昭和59年にノルウェーのオスロ市から設立認定を受け、34年が経過した。平成3年から開始したヨーロッパ流通産業視察研修では、5団体が本家

のサンタランドを訪れ、イメージづくりの参考とした。近年は行っていないが、今年行う考えは。

### 答弁 村瀬町長

本家のサンタランドに行き、研さんを積むことは大事だが、厳しい財政状況から難しい。駐日大使をツリー点灯式に招へいするなど、ノルウェーとの友好関係を深めていきたい。

新たな事業展開は難しいが、今年サンタメールのイラストを広く公募する。また、高校生議会で提案のあった恋人の聖地を活用したインスタ映えするイルミネーションにも取り組んでいきたい。今後まちづくりの一つの柱として、町民の皆さんと一緒に、魅力あるサンタランド事業を進めていきたい。



ツリー点灯式のさらなる充実も必要か

# 病院経営の見直し もっと町民の声を聞くべき

## 町長 しっかりと町民に説明しながら進めていく



どう病院を守っていくのか

今後、予防医療の充実や医療と介護の連携など、早急に取り組むことが町民要望に込めることだと考え、どういった方向性になっても、しっかりと町民に丁寧な説明をしながら進めていく。



### 質問

国保病院のあり方に関する調査特別委員会が設置され、町民から「病床数をこれ以上減らさないようにして」、「診療所化にはしないでほしい」、「町が主体的に経営改善に努めるべきでは」などの声が多く寄せられた。

### 答弁 村瀬町長

本町は、総合病院等がある帯広市まで1時間30分以上かかる距離にあることから、入院病床を有し、24時間365日救急患者に対応する医療機関は絶対が必要である。今回の経営形態見直しは、将来にわたり継続的に病院運営ができることを目指すものであり、役員内部の検討会議で答申内容を検証し、町民に信頼され、町民が安心できる病院となるよう、結論を出したい。

# 学校給食費

## 3人目を無償化に

教育長

老朽化した

給食センターの整備を優先

質問

小中学校の学校給食費を無償化

している自治体は、全国で83市町村、北海道でも17市町村ある。十勝管内では陸別町、足寄町、浦幌町が実施している。

さらに半額補助や第三子以降を無償化にするなど、一部補助をしている自治体は362市町村で、十勝管内でも上士幌町や更別村、本別町が3人目以降を無料とし、加えて更別村は2人目を半額、鹿追町など12町村が一部助成をしている。

本町でも第三子以降の給食費無償化等を実施すべきでは。

答弁

笹原教育長

給食費の保護者負担は、これまでも原材料にかかる必要最小限の負担としている。

また、ふるさと給食では、漁組から地場産品の食材を無償提供して

いただき、大きな負担軽減にはつながらないが、地域に根差した食の関連産業への理解や郷土を大切にすることを育むよい機会となっている。

給食費の負担軽減が子育て支援策の一環として役割を担うことは十分理解しているが、厳しい財政状況の中、優先すべき教育関連事業、老



栄養バランスのとれた給食で健やかな成長を

朽化した給食センターの維持・補修や調理機器の更新を行わなければならない。今後とも国や他市町村の状況を把握しながら、検討していきたい。

# 生活保護費削減 関連施策への影響は



はたて  
旗手恵子 議員

町長 できる限り影響が及ばないように対応する

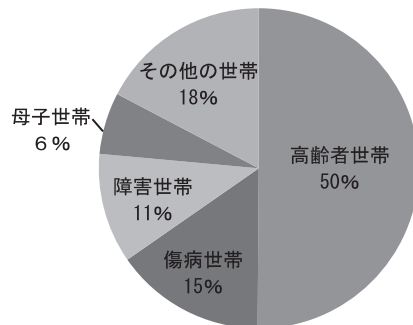
質問

政府は、今年10月から平成32年10月まで、3年連続で「生活扶助費」を最大5%削減するとしているが、その影響は、

生活保護受給世帯

高齢者世帯が5割

↳年金減少が影響か



平成27年度被保護者調査（厚生労働省）より  
※全国値

答弁

村瀬町長

削減幅は都市部で大きく、地方では小さいとされているが、世帯構成によつて影響が出ると考えられている。町独自の制度を含める

町独自の制度を含める

と52施策に影響があり、国は各制度の趣旨や実態を考慮し、できる限り影響が及ばないよう対応することを基本としている。町としても一定の弾力的運用を図っていくが、独自施策の福祉灯油や就学援助等の基準は現行のままとする。

地域の生活や経済に悪影響が出ないよう、今後も町村会等を通じて国に要望していく。制度の周知については、相談業務等の中で、引き続き丁寧に対応する。



# 町民の願い 医療費無料化 高校生まで

## 町長 町の全体的な財政運営を考えると難しい

### 道内市町村の子ども医療費助成状況

～5年前に比べ対象年齢が大きく拡大

助成対象 (市町村数)	小学生まで	中学生まで	高校生まで	22歳学生まで
平成23年	130	44	4	0
平成28年	52	77	49	1

※全額、一部、入院費を含む助成  
※各年4月1日現在 (厚生労働省調べ)

が必要となる。厳しい財政状況から行政改革を行い、住民負担をお願いしている中、町の全体的な財政運営を考えると実施は困難である。教育・医療・福祉は、国の責任で住む地域に関係なく平等に受けられるべきであり、要望していく。

### 質問

4月から子どもの医療費窓口無償化に対する国保の公費減額調整のうち、未就学児までが廃止されることになった。見直しにより生じる財源はいくらか。

### 答弁 村瀬町長

平成30年度は、110万円が減額措置されない国からの負担金となるが、これは今まで一般会計からの繰り入れで賄ってきたものである。

厚生労働省の通知には「見直しにより生じた財源は、ほかの少子化対策の拡充に充てること」とあるが、参議院予算委員会で厚生労働大臣は「対象年齢拡大に向けても構わない」と答弁している。

子ども医療費無料化を高校卒業まで拡大する

ことは、町民の切実な願いである。見直しで生じた財源を対象年齢拡大に活用すべきでは。

### 質問

75歳以上の高齢ドライバーによる死亡事故は、北海道の場合、全国平均を大幅に上回り全体の15%を超えている。また、道路交通法の改正で認知機能の基準も厳しくなり、免許を取得できない高齢者が増え、自主返納者も増えつつある。



おだ 小田雅二 議員

他の自治体では、返納時の運転経歴証明書を示すことで、タクシィ券や各種割引券の発行など、実にさまざまな方でさらなる自主返納を促進している。

本町もより安心、安全な町を目指して各種対策を積極的に検討し、対応する必要があるのでは。

### 質問

本町の運転免許証自主返納者数は、78人(平成25年から平成30年2月まで)である。

### 町長

運転経歴証明書交付手数料の助成を検討

## 高齢ドライバー 免許自主返納の促進を

通院、買い物などの移動手段として自動車がないという事情もあるが、一歩間違えば人の命を奪う危険性があり、自主返納を推進することは重要である。

高年齢者の移動手段を確保するため、病院の送迎バスやスクーターバスに混乗できる取り組みを行っている。また、免許自主返納者は、十勝バス運賃が半額になるため、その周知を図っている。

### 死亡事故 主な要因

1位	ハンドル操作ミスやブレーキ・アクセルの踏み間違いなどの	操作不適 (31%)
2位	一時停止や徐行をしたものの十分に確認しなかったなどの	安全不確認 (24%)
3位	「～しないでらう」と思い、気にせず漫然と運転するなどの	内在的前方不注意 (15%)

※平成29年における交通死亡事故の特徴等について (警察庁資料) により

次のページは「一般質問『空き家・ホームステイ・高規格道路』・議会の傍聴」

# どう取り組む？ 増え続ける空き家対策

町長 対策計画に基づき、有効活用を含め取り組んでいく



深刻化する空き家問題 対策が急がれる

## 質問

過去5年間、本町は転入より転出が484人多く、十勝管内トップである。

平成27年5月の空き家対策特別措置法の施行により、自治体はこれまでよりも弾力的な対策を行えるようになったが、20年、30年後には所有者不明物件がさらに増え、行政の対応が大変難しくなる。高齢化と過疎化の中で引き取り手のない空き家をどう処理していくのか。私有地の受け入れも視野に、先進的な取り組みの検討、調査をしていく必要があるのでは。

## 答弁

村瀬町長

本町には146件の空き家があり、特に傷みが著しく地域の生活環境に影響を及ぼしている10件の所有者に対して適正に管理するよう通知している。平成29年度はそのうち3件が解体された。平成28年に条例を制定し、対策協議会を設置して取り組んでいるが、平成30年度からは、対策計画に基づき、地域の安全確保と生活環境の保全を図りながら、空き家等の活用を推進していく。また、空き家バンクも

創設しており、物件の売買、賃貸借などを進め、移住促進につなげたい。行政代執行により町が空き家を取り壊すことも可能となったが、国からの支援がないと財政的に難しい。

# 漁村ホームステイ

## なぜ継続なのか

町長 将来的な地域活性化につながる

## 質問

平成30年度も漁村ホームステイ

を継続する予算提案となっており、残念である。

姉妹市町の西海市や海外派遣事業などに行く場合、自己負担がそれぞれ2万7000円、5万円となっているが、この事業では荒川区の子ども約70人は飛行機代を含め自己負担がなく、全額広尾町の負担である。相応の自己負担をいただくのは、世の中の常識である。町の財政を考え、広尾の子ども達のことを考え、町民の感じる不公平感を拭い去る答弁を期待するが。

## 答弁

村瀬町長

姉妹市町としての相互交流、グローバルな視野を持つ人材育成を目的とした海外派遣と、地方創生を目指し、地域資源を活用して都市部の子ども達の成長をサポートすることを入り口に交流人口、

事業への賛同によるふるさと納税寄附金を財源として実施している。今後、本事業を充実、継続していく中で、費用負担については定めていきたい。

将来的な移住定住の増加、産業振興や地域活性化を図ることを目的とする漁村ホームステイは、性質が異なるため、内容を比べるのではなく、本事業の意義や効果を鑑み考えるべきものである。

町財政の負担とならないよう、当初は国の交付金、そして平成29年度からは本



平成29年度は児童56人を受け入れ



やまや 山谷照夫 議員

1日も早い

広尾までの延伸を

町長 全力で取り組む

質問

本町には「防災に強い物流ルート」と「救急搬送時間短縮」の道路が必要不可欠である。

帯広・広尾自動車道は忠類大樹まで開通しており、悲願であった豊似までの約15kmも新規事業区間に昇格し、平成39年度の開通を予定している。現在の進捗状況は。

その後、未来のまちづくりをどのように考え、新規事業化実現に向け、どう要請していくか。

答弁 村瀬町長

平成28年度から路線や用地測量、地質・物件・環境調査、道路等の詳細設計などが進められており、平成30年度は国からまだ公表されていないが、同様の予備調査・設計が実施される見込みである。

豊似までの区間には、希少動物の生息が確認されており、影響を与えないように事業を進める予定である。

全線開通したときに魅力ある町となっているよう、今後もまちづくりを取り組み、期成会を中心に広尾までの区間の新規事業



毎年、十勝19市町村でリレーパネル展を開催

3/13

町内会女性部長が 議会を傍聴

◇町長と議員が意見を交わすことで、町政がよりよくなつていくことに気付かせてもらった。◇審議がわかりやすい部分とわかりづらい部分があった。◇これからも住みよい町のために、がんばってほしい。◇真剣な議論を聞いて、とても力強く感じた。



傍聴してみて

町内会女性部連絡会(道端千員会長)では毎年「議会の傍聴」を実施しており、今回は3月定例会で行われた新年度予算の審査を道端会長ほか7人が傍聴しました。

◇町財政が厳しいため、ホームステイ事業は廃止できないのか。全額町が負担するのはおかしいのでは。◇質問内容がわかりづらい。もう少し要約してほしい。

町議会を見に来ませんか

議会はどこでも傍聴できます。

役場3階にお越しください。

「傍聴人入口」で受付。住所と氏名を記入してください。

傍聴席へどうぞ。席は自由です。

※団体で傍聴を希望する方は、あらかじめ議会事務局にご連絡ください。

【インターネット中継 実施中】

広尾町のホームページから議会の生中継、録画中継をご覧ください。

トップページ→ 広尾町議会 をクリック!

次のページは「常任委員会」



考えた!



# 総務常任委員会

委員長 旗手恵子 副委員長 <sup>こ</sup>だ 小田英勝

調査日 平成30年1月11日

## 高齢者福祉・介護保険・障がい者

## 各計画の内容を



第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

介護保険事業計画は「3年を1期」として策定する。高齢者保健福祉計画を同一周期で見直し、一体的に策定することで、事業の円滑な実施と計画的な運営を図っている。

### 【基本方針】

本町の高齢者施策は、第5次まちづくり計画の基本目標「住み慣れた地域で安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を指している。

高齢化と多様なニーズに対応するため、地域包括ケアシステムの構築を推進するとともに、高齢者や障がい者など、すべての町民が抱えるさまざまな生活課題に対し地域全体で取り組む体制づくりを支援することで地域共生社会の実現を目指し、団塊の世代が後期高齢者となる2025年及びピークを迎える2030年を見据え、計画を策定する。

### 【基本理念】

① まち全体で健康寿命を延ばし、自分らしい生活を人生の最後までおこなうことができる広尾町

② 多様なネットワークを築き、見守り・支え合いの広尾町

③ 医療や介護が必要になっても療養・ケア・暮らしの場所について、誰もが選択と意思決定ができる広尾町

### 【基本目標】

8つの基本目標を定め、「自立支援・介護予防・重度化防止の推進」、「認知症施策の推進」、「医療・介護連携の強化」、「積極的な社会参加と見守り・支え合いの推進」の4つを重点目標としている。

### 【新たな基盤整備】

在宅での生活が困難な高齢者が、可能な限り住み慣れた地域での生活を継続できるよう施設整備を行う。

### 第2期障害者計画

すべての障がいがある人に対する施策を定める障害者計画（基本計画）と障害福祉サービス等を提供するための方策などを定める障害福祉計画（実施計画）、障がいのある児童への支援サービスの見込みなどを定める障害児計画を一体的に策定し、第5次まちづくり計画の個別計画として、他の計画との整合性を図っている。

### 【目標と体系】

「誰もが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を基本目標としている。

「相談支援、福祉サービスの充実」、「保健・医療の充実」、「ライフステージにあつた支援体制の充実」、「安心・安全な生活環境の整備」、「理解と交流の推進」の5つの施策分野にそれぞれ2〜3つの施策の方向を定めている。



「通い」・「宿泊」・「訪問」の3つのサービスを組み合わせることができる介護施設が平成30年5月に開設

**問** 多くの町村で介護職員の確保に苦慮しているが、本町は。

**答** 本町も人材不足である。人材確保について計画に搭載したが、具体的取り組みは、今後検討する。

**問** 福祉避難所の整備はどうなっているか。

**答** 自主防災組織等と協議して整備を進める。

※福祉避難所

一般の避難所では生活することが困難な高齢者や障がい者、妊婦など、援護が必要な人達に配慮した避難施設

# 産業常任委員会

委員長 北藤利通 副委員長 志村國昭

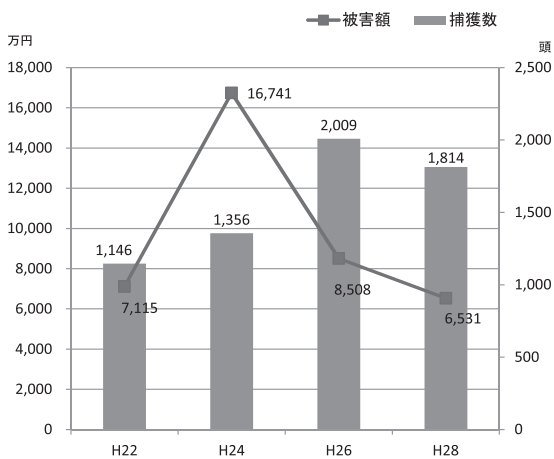
調査日 平成30年1月30日

## 農林業被害・交通事故の増加

### エゾシカ被害の現状

有効活用で地域産業の一つに

広尾町のエゾシカによる農林業被害額と捕獲数



中広尾側の工事が早期着手できれば、平成30年10月に供用開始が見込まれるが、昆布漁と重なり粉塵などで工事が遅れることも予想され、12月になることも考えられる。

**問** 現在の仮称「陣屋大橋」をそのまま正式名称としてもよいのか。  
**答** 町としては、そのまま「陣屋大橋」としたい考えがあり、最終的には北海道と協議して決めたい。

**被害状況と対策**  
 エゾシカは、高い繁殖力と農耕地の拡大等により、急速な増加と分布域を拡大している。  
 本町の農林業被害額と捕獲数は、左表のとおり。現在、北海道の事業としてオソウシ牧場で囲いなどの捕獲を行っているが、実績はゼロである。今後、捕獲技術の研究開発と出没数の多い場所での効果的な捕獲を推進するとともに、ハンターの担い手確保と育成についても検討していく。

**有効活用の取り組み**  
 適正な生息数管理を進める一方、エゾシカを北海道固有の自然資源として有効活用し、将来にわたって地域産業の一つとすべく、北海道としても奨励している。  
 現在、本町では「ひろおジビエ」が精肉と委託加工したソーセージなどの販売を行っており、ふるさと納税の返礼品や町内各イベントでの対面販売などで徐々に認知度が高まっている。

#### 工事の概要

◇平成29年度

長さ87・4 m、幅員12 mの鋼製橋架254・9 mを既に完成している橋脚に設置し、橋梁を仕上げる工事を実施。

中広尾と陣屋をつなぐ西広尾川に架かる陣屋大橋（仮称）を北海道が事業主体となり工事している。現場の視察調査を行い、説明を受けた。

#### 陣屋大橋（仮称）

#### 供用開始は

◇平成30年度

平成29年度に設置した橋梁の舗装工事87・4 m。中広尾側の306 mの路盤・舗装工事と西広尾道路側の202 mの盛土・路盤・舗装工事を実施し、事業完了となる。

#### 供用開始の見込み

中広尾側の工事が早期着手できれば、平成30年10月に供用開始が見込まれるが、昆布漁と重なり粉塵などで工事が遅れることも予想され、12月になることも考えられる。

見た！  
聞いた！



ひろお

常任委員会

# 国保病院のあり方に 関する調査特別委員会

4/16

# 病院経営形態の見直し 地方独立行政法人へ移行

## 町長から方針示される

### 現在の経営形態と地方独立行政法人との比較

区分	現在の経営形態 (地方公営企業法一部適用)	地方独立行政法人 (非公務員型)
組織	町が経営	町が設立した法人
経営責任	町長	町長が任命する「理事長」
経営目標・評価	義務付けなし (予算・決算は議会による 議決、認定)	法令による義務付けあり ・町長が「中期目標」を作成、議会の 議決後、公表 ・法人が「中期計画」を作成、議会の 議決後、公表 ・法人が毎年度「年度計画」を町長へ 届出後、公表 ・法人が自らの業務実績評価を町長へ 提出、町長が評価し、公表、議会に報告
職員の身分・給与	地方公務員 給与の種類、基準は条例で 規定	法人職員 (非公務員) 独自給与制度を設定 (支給基準等は町へ の届出と公表が必要)

委員会議冒頭、村瀬町長は「町立病院は『地方独立行政法人(非公務員型)』へ移行する」との方針を示しました。

役場内部の検討委員会から「今後も良質で安全な医療を継続・発展させていくためには、地方独立行政法人へ経営形態を移行させることが最善である」との報告を受け、病院の経営悪化が町の財政運営にも影響を及ぼしていることから、平成31年4月に移行する判断をしたとの説明がありました。

**問** 移行によって経営が好転する見込みは。

**答** 北斗からの医師の派遣により、安心できる診療体制を築くことで収益の安定的な確保につな

**問** 医師2名体制では、救急医療に対応できなくなる。

**答** 1人は定年退職だが、1人は今年1月に申し出があった。医師2名体制では、救急医療に対応できなくなる。

**問** 医師の退職はわかっていたことでは。

**答** 1人は定年退職だが、1人は今年1月に申し出があった。

**問** 来年4月の移行は拙速では。

**答** 来年3月末で医師が2名退職する。北斗との提携で医師を派遣してもらえるため、一刻も早い移行が必要。

**問** 大手病院と提携することが最善だが、決まっているのか。

**答** 帯広市にある社会医療法人北斗(以下「北斗」と)と現在協議を進めている。

### 議員研修を実施 (5/7)

地方独立行政法人(非公務員型)について、東日本税理士法人夏荊千晶税理士を講師に招き、研修会を行いました。

議員11人のほか、病院関係者などの町職員も参加しました。



**問** 今年1月から話が早く進み過ぎている。もう少し時間をかけて結論を出すべきでは。

**問** 現在勤務している職員の待遇は。

**答** 法人職員へ移行することになる。北斗と協議を進め、職員と引き続き話し合いを行っていく。

がる。病院改革、職員の意識改革で医療サービスが向上されれば、収益が増えて町からの繰出金が減る見込みである。

**問** 今年1月から話が早く進み過ぎている。もう少し時間をかけて結論を出すべきでは。

**答** 今年1月から話が早く進み過ぎている。もう少し時間をかけて結論を出すべきでは。

**問** 質疑終了後、議員間で議論が交わされ、「町が示すスケジュールでは十分な調査ができない」、「経営悪化を考えると早急に進めるべき」などの意見が出されました。

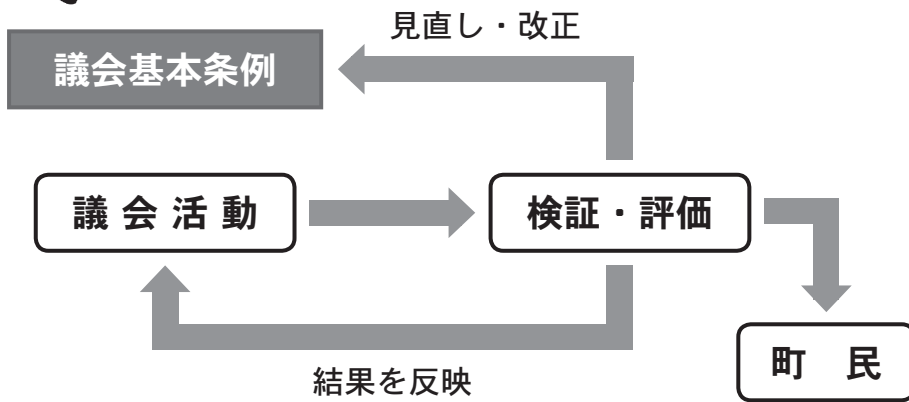
※町民にとって最良の病院経営とは何か、調査継続中です。

**答** 病院への繰出金が例年より8000万円以上多くなつており、町の財政を圧迫している。基金を取り崩さなければならぬ状況から、早急に進める必要がある。



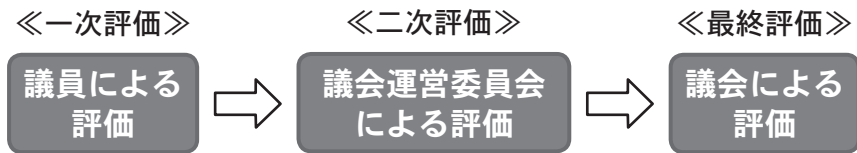


# 議会基本条例の検証・評価を実施



「議会基本条例」に基づき行う議会活動の内容（活動できたか、できなかったか。どのように活動したか）について毎年議会は検証・評価を行い、その結果を翌年以降の活動に反映させていく必要があることから、平成29年の活動について、検証・評価を実施しました。

## 議会基本条例 検証・評価の実施方法



評価シートにより、全員で行う。評価は4段階で理由も記載。

議員の評価を基に評価を4段階で行う。評価の理由、今後の課題、改善策を記載。

二次評価を基に、議員協議会で議会としての最終評価を決定。

評価結果の詳細はスペースの都合上、ここでは掲載しません。詳細は、広尾町ホームページに掲載しています。

## 評価実施後の取り組み

- ①議会として決定した「今後の課題及び改善策」について検討を行い、次年度以降の取り組みに反映させていく。必要があれば条例、規則等の改正を行う。
- ②検証・評価内容について、議会広報、議会報告会などで町民へ公表する。

農林・水産商工観光・  
旗手 勝  
濱頭 勝  
委員 旗手 恵子  
委員 小田 雅二  
委員 万亀山 ちず子  
委員 山谷 照夫  
委員 小田 英勝

### 産業常任委員会

総務・企画・住民・保健福祉の各課、出納室、老人ホーム、特別養護老人ホーム、国保病院、教育委員会、公平委員会、選挙管理委員会、監査委員の事務に関する調査を行います。

委員 北藤 利通  
副委員長 前崎 茂  
委員 浜野 隆  
委員 志村 國昭  
委員 星加 廣保  
委員 渡辺 富久馬

### 総務常任委員会

議員任期も折り返し時期を迎え、議会の委員会構成が変更になりました。

## 委員会構成が変わります

議会の活動を町民にお知らせするため、議会広報の発行やホームページの編集などを行います。

### 議会広報特別委員会

議会を円滑、効率的に運営する方法を協議するほか、議会に関する条例・規則などに関する調査を行います。

委員 山谷 照夫  
副委員長 小田 英勝  
委員 北藤 利通  
委員 前崎 茂  
委員 星加 廣保  
委員 濱頭 勝

### 議会運営委員会

建設水道・港湾の各課、農業委員会の事務に関する調査を行います。

## 議会活動日誌

平成30年3月～5月

### 【3月】

- 1日 広尾高等学校卒業証書授与式  
第2回議会運営委員会
- 3日 広尾町文化賞・スポーツ賞等表彰式
- 6日 第1回広尾町議会定例会（～16日）  
第2回国保病院のあり方に関する調査特別委員会  
第3回議会運営委員会
- 9日 第2回議会広報特別委員会  
第2回議員協議会
- 13日 第4回議会運営委員会
- 16日 議会広報編集会議
- 25日 新党大地代表 鈴木宗男と衆議院議員 鈴木貴子を囲む新春のつどい IN 広尾

### 【4月】

- 1日 さけます神社春季祭典及び大漁祈願祭
- 8日 広尾高等学校入学式
- 16日 第3回国保病院のあり方に関する調査特別委員会  
第3回議員協議会
- 20日 広尾町農業協同組合通常総会
- 26日 地方議会研修会 in 北海道・十勝（帯広市）
- 27日 十勝町村議会議長会定例会（帯広市）

### 【5月】

- 7日 平成30年度第1回広尾町議会議員研修会  
（地方独立行政法人とは）  
第4回国保病院のあり方に関する調査特別委員会
- 8日 議会広報編集会議
- 10日 厳島神社春季祭典
- 12日 自民党北海道第11選挙区支部「第24回定期大会」（帯広市）
- 13日 広尾町消防団春季消防演習

- 16日 第2回広尾町議会臨時会  
第2回総務常任委員会  
第2回産業常任委員会  
第5回議会運営委員会  
広尾町議会議員会総会  
第3回議会広報特別委員会
- 17日 南十勝町村議会正副議長懇話会（中札内村）
- 18日 広尾町商工会通常総会  
帯広広尾会総会（帯広市）
- 21日 とかち広域消防事務組合議会臨時会（帯広市）  
十勝圏複合事務組合議会臨時会（帯広市）  
広尾町北方圏交流振興会総会
- 22日 議会報告会（農村環境改善センター・2班、  
音調津総合センター・1班）
- 24日 海難碑・延命地蔵尊供養祭
- 25日 十勝圏活性化推進期成会委員会（帯広市）
- 26日 札幌広尾会総会（～27日、札幌市）
- 28日 第5回国保病院のあり方に関する調査特別委員会  
議会報告会（コミセン・全議員）
- 29日 広尾町150年記念植樹祭

## 閉会中の所管事務調査

議会運営委員会は、平成30年第2回定例会までの閉会中に、次の所管事務調査を実施します。

### ◇議会運営委員会

- ①議会の運営に関する事項について
- ②議会の基本条例、会議規則等に関する事項について
- ③議長の諮問に関する事項について

## 議会モニター募集

広尾町議会では、平成27年度から議会改革の一環として議会・議員の活動や議会運営などについてご意見をいただく「議会モニター」制度を行っています。

現在、6名の方に委嘱していますが、より広く町民の皆様からご意見をいただくため、追加募集をします。

対象：議会運営や町政に関心のある  
満18歳以上の町民

募集人員：6名

※詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

平成27年に議会基本条例を制定し、町民に開かれた議会を目指して行ってきた議会改革の取り組みが認められ、このほど全国町村議会議長会から表彰されました。

2月23日に行われた十勝町村議会議長会定例会において、吉田敏男会長（足寄町議会議長）から堀田議長へ表彰状と記念品が伝達されました。



全国町村議会議長会から表彰